

# 連珠っておもしろい

## 九段 河村典彦

### ●第54回● ローマの休日

毎年イースター休日が4月にやってくる。土日を含め4連休しかないのだが、日本と違ってめったに祭日がない分、貴重な休みとなっている。このイースター休日、実は毎年日程が動く。昨年は4月末だったが、今年は4月上旬で、半月も違っている。そのため、昨年は半袖だったのが今年は雪に見舞われた。

さて、今年のイースターはどうしようかと思っていたら、日本から妻が遊びに来ると言う。せっかくなので、ローマとウィーンの旅をチョイスした。直前まで日本からの出張者の相手でロンドン、パリ、ミラノに行っていた関係もあり、かなり疲労が蓄積した上での旅行となった。

4月6日(金)、フランクフルトからローマに移動。ミラノは十回以上行ったこととはあるが、ローマは初めてである。レオナルドエクスプレスに乗ってテルミニ駅まで出る。それにしても、欧州の特急の名称はかっこいい。

### <レオナルドエクスプレス>



翌日は市内観光ツアー。日本ではあまり乗れないセグウェイを使っているツアーだった。もちろん乗るのは初めてだったが、いや〜快適！皆様もぜひ。

### <ローマと言えば、コロッセウム>



ツアー終了後に真実の口やテレビの泉などに行き、一通り有名所を回って、少々後ろ髪を引かれる思いはあったが、7日(土)夜にウィーンに移動。夜だったのでタクシーを使おうとしたが、乗り場が分からず迷っていたらまたまた西駅行きのバスを発見。格安で移動できた。

ウィーンと言えば芸術の街。コンサートを予約してあったので、8日(日)夜にクラシックを聞きに行ったら、席が二階席で半分しか

見えなかったが、それでも雰囲気は十分楽しめた。それよりも我々夫婦にはカフェザツハーで本家ザツハトルテを食べるのが楽しみだった。小雪のちらつく中、二十分くらい並んで入ることができた。単なるチョコ味ではなく、フルーツが混ざっているのが特徴であった。美味しい。

### <本家ザツハトルテ>

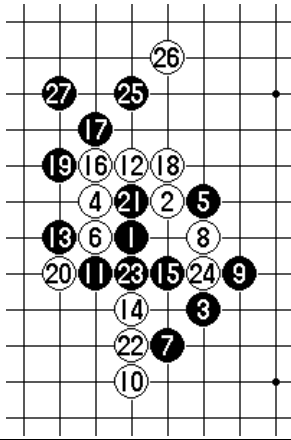


こうして9日夜にフランクフルトに戻り、楽しいイースター旅行となった。この時期は日本のGW並みに人間が移動するが、さほど

料金も上がらないし、混雑もしない。行く所が多いせいであろうか？

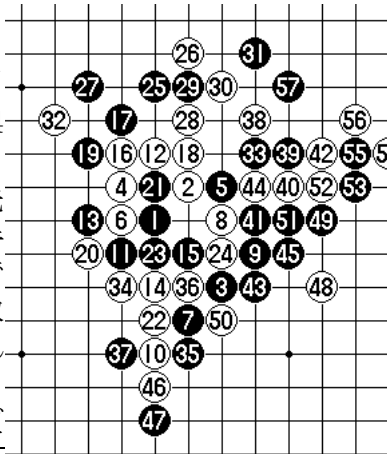
### 流星の攻防

さて、掲示板連珠で負けが続いているが、その中で最近の研究をご紹介してこう。流星一題はチーム戦以来よく打たれているが、最近黒の研究が進んで黒有利になっているようである。掲示板で白22の作戦に以下黒23と先手を取られ、黒25から27！と強烈な含み手を打たれた。



この手は含み手なのだが、まずそれを理解してほしい。こういう手こそが連珠の醍醐味である。実戦に現れなくても、こういう手を研究

することで連珠の面白さがわかるだろう。さて、この手にずいぶん悩まされた結果、何とか白28、30と伸びて32と防ぐ手を発見。これで上辺は止まっているようだ。ただ、その前に33に伸びるのを忘れたため、黒に33と打たれて困ってしまった。白としてはこの四は極力打ちたくないのだが。



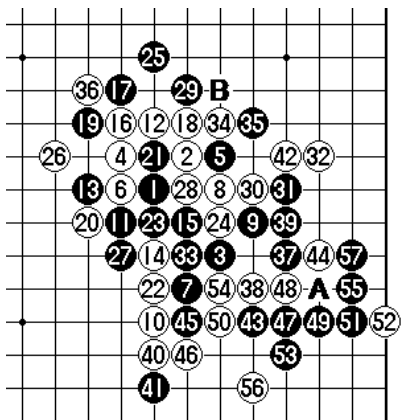
白34と先手で取れるだけに盲点になるが、黒37と止められた時、止める手が難しい。以下実戦とは離れたが、白38から42が強そうだが、黒33でできた剣先の威

力が強く、右上辺で勝ちが出てしまう。

しかし、これでも以下黒勝ちのようだ。黒43、45と打てば白は46と伸びるし、先手で打たれ、黒57以下四追いで奇麗に収束する。

その他白38をいろいろ試したが、いずれも黒勝ちが出てしまった。ここまで研究された上で黒27を打たれたとしたら、これはもう脱帽だ。逆に言えば、完全ではないにしても、こういう変化を研究しておかないと、黒27を打つことはできない。こういう手が連珠の醍醐味であると言った意味は、こういう変化を研究できるからでもある。派手な手を打つ時は、裏付けとなる研究が必要なのである。さて、白26の反対止めはどうなるのだろうか。これは先の世界戦でのタイムラ、岡部戦で打たれている。タイムラは黒31、29と打った

が、ここは単に黒29に打った方がいい。



白が30に打った時に黒31と伸びるのが大切で、黒33まで止めて上下に勝ちを残す。白34、36の止めなら、黒は右下で勝ちが出る。黒37、39を利かしてから、黒43が決勝点で、以下手数は長くなるが難しくはない。黒57後Aまでとなる。結論として、白36ではBぐらいしかなくとも黒負け、これでは少なくとも黒負け、これはないだろう。となれば黒がずいぶんいいようだが、数年後にまた常識が変わっているかもしれない。